

第2回 10月30日(金)

「ラオス語の辞書～その時代の熱き想い～」

講師：鈴木 玲子 東京外国語大学総合国際学研究院教授

ラオス語は辞書だけではなく、教科書も参考書も大変少ない言語の一つです。現在、ラオスの書店で確認できる国語辞典はたったの2冊ですが、本講座では、その「少なさ」から見えてくるラオス語辞書の魅力をみなさんと共に考えてみたいと思います。

まず、「ラオス語辞書史」について概観することになります。その際には、内容だけではなく、装丁の色やサイズ、文字の大きさなどにも注目します。辞書は国語辞典だけではなく、対訳辞書やことわざ辞典のようなある話題に絞った辞書もあるでしょう。どのような辞書があるのか、そしてその辞書の編者は各々、その時代、どのような想いで辞書を編纂したのか、ということを見ていきます。

また、ある語彙を例にとって、それぞれの辞書に書かれていることを比較する予定です。ラオス語の特徴に触れながら、実例をまじえて辞書を読んでもみます。それによって、現在ラオス語辞書事情が抱えている諸問題が見えてくるかもしれません。